

# 公共事業を通じて住民意識が 変わった！

小さな拠点

【きらめき広場・哲西】

の整備をとおして

(岡山県新見市哲西町の事例から)

(特)NPOきらめき広場

事務局担当理事 深井 正

にいみしてっせいちょう

国指定天然記念物 鯉が窪湿原

# 岡山県新見市哲西町の位置



新見市哲西町  
(2011.9.1)  
人口 2,944人  
高齢化率 38.0%  
(新見市全域 35.2%)

新見市  
哲西町

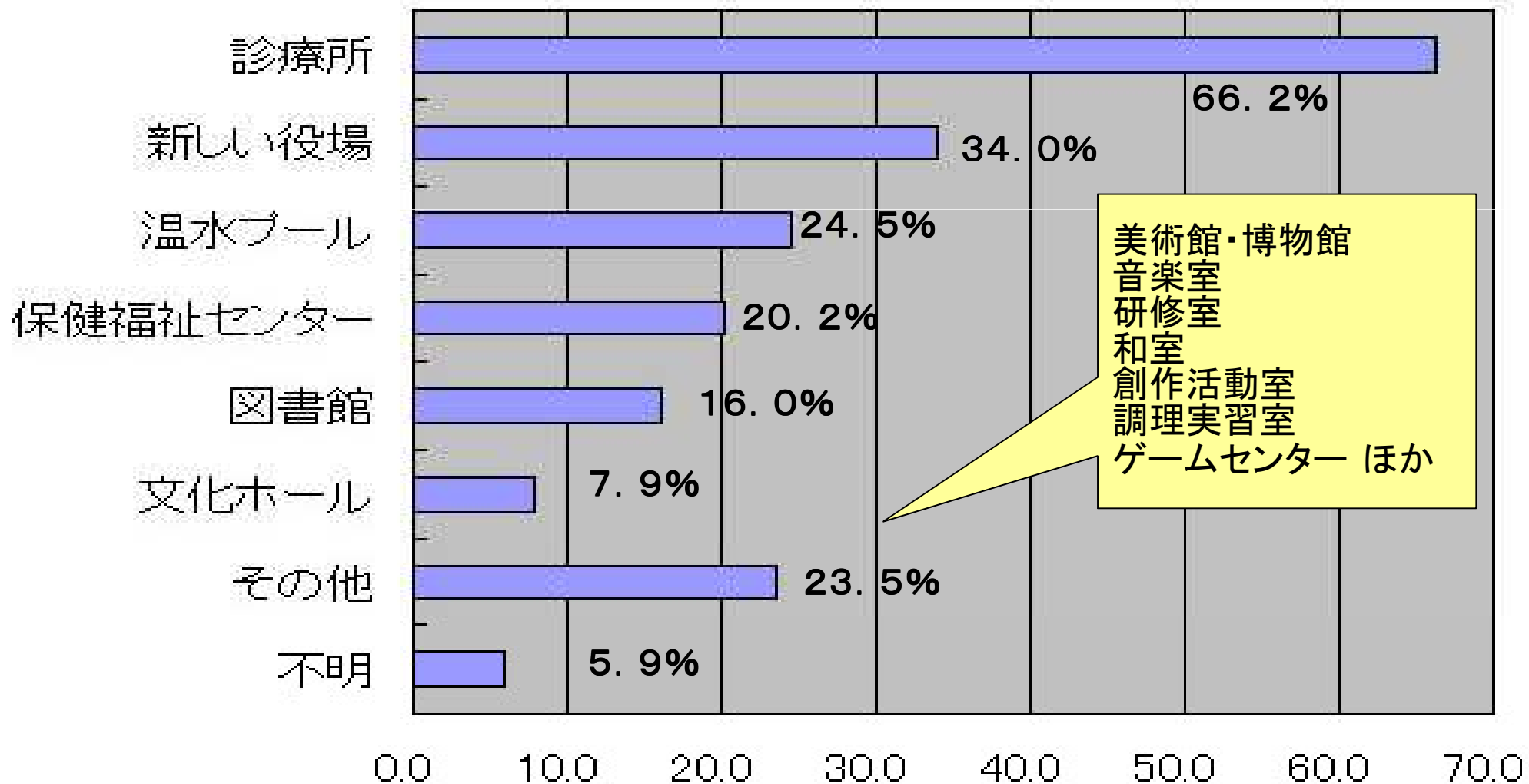


# 新見市哲西町地域

※最遠の住家まで12Km(車で18分)



# 今後どんな施設が必要ですか？（H9.7）



住民の望むものを中心に据えたまちづくり

# 全国的にも珍しいといわれる 複合施設「きらめき広場・哲西」

平成9年 今後町に必要な施設は？ アンケート実施  
平成13年10月 哲西町最後の大型事業として完成  
施策の中心を「ハードからソフトへ大転換」

住民の活力（健康）が、まち最大の財産

元気で働ける

元気で長生きできる

まちづくりの基盤 = “人々の活力”

人々の活力の基盤 = “心と身体の健康”

保健・医療を中心にしたまちづくり



## 施設設計

基本設計から実施設計に至るまで、住民も交えた60数回に及ぶ設計会議を経て成案とした。

## 施設のコンセプト

- 1、公共施設を集中させて利便性を向上させる場
- 2、町民の健やかで生き生きとした生活を支える場
- 3、人々の交流の場・賑わいの場（街）
- 4、その街角に役場を店開き
- 5、ユニバーサルデザインと省エネルギー
- 6、町のシンボル

# きらめき広場・哲西

敷地面積 22,587m<sup>2</sup>  
建築面積 6,021m<sup>2</sup>  
延床面積 1F 4,963m<sup>2</sup>  
2F 834m<sup>2</sup>

(内科診療所・歯科診療所を  
含む複合施設)

生涯学習センター

文化ホール

新見市役所  
哲西支局

図書館

保健福祉センター

医科診療所

歯科診療所





# きらめき広場・哲西 配置図





# 診療所

内科 医師2名、スタッフ7名。 **装備**・ヘリカルCT  
電子内視鏡装置(上下部消化器)心電図、ホルター心電図、超音波診断装置(カラー、ドプラー)、X線撮影装置、X線透視撮影装置、骨密度測定装置、無散瞳式眼底カメラ、エルゴメーター、イベントレコーダー、呼吸機能測定装置、パルスオキシメーター、モニター装置、心細動除去装置など

歯科 歯科医師1名、スタッフ2名 **装備**・診療台3台、訪問診療実施





# 保健福祉センター

調理実習室

機能訓練室

プレイルーム





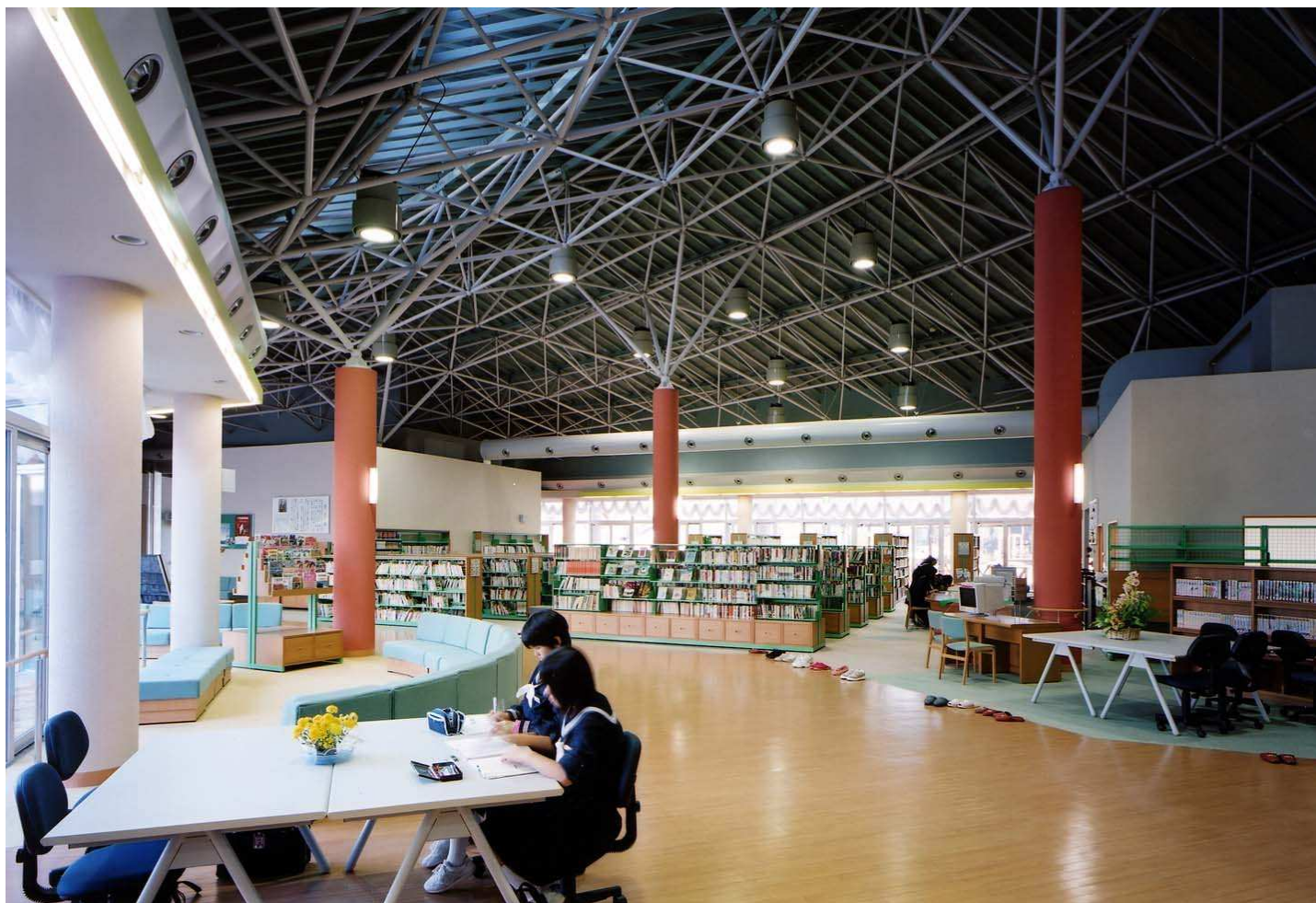
## 図書館

### 特定非営利活動法人による指定管理

開館日数 年間355日 開館時間 9:00~19:00  
(年末年始・蔵書点検4日以外年中無休)

蔵書数 78,127冊(23.4.1 現在)

貸出冊数 74,337冊(22年度) 貸出者数 15,666人



### 特色あるサービス

◎幼児一時預かり  
(第1・3月曜日午前中)

◎よろず相談室



# 生涯学習センター

- ◎文化ホール(300人)
- ◎研修室(大・小)
- ◎創作活動室
- ◎音楽室
- ◎和室





# きらめき広場の利用状況

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
生涯学習センター(除くホール)	-	-	5,427	6,157	7,440	5,667人
<b>使用回数</b>	<b>672</b>	<b>745</b>	<b>428</b>	<b>570</b>	<b>649</b>	<b>537回</b>
文化ホール	-	-	3,872	3,896	4,335	3,590人
<b>使用回数</b>	<b>84</b>	<b>79</b>	<b>38</b>	<b>65</b>	<b>59</b>	<b>56回</b>
図書館(貸出人数)	17,830	18,215	17,504	16,308	15,983	15,666人
保健福祉センター	-	8,572	9,253	6,063	6,642	6,734人
<b>使用回数</b>	<b>373</b>	<b>455</b>	<b>382</b>	<b>221</b>	<b>249</b>	<b>327回</b>
内科診療所	11,801	11,215	10,632	10,397	10,931	10,232人
歯科診療所	3,766	3,634	3,584	3,259	3,306	3,541人
JA矢神支所ATM	-	-	-	9,058	9,820	16,435人
※図書・新聞雑誌等閲覧のみの利用者、市民コーナー利用者、新見市哲西支局来訪者はカウントできていない。	<b>利用人数合計</b>		50,272	46,080	48,637	45,430人
	<b>(含むATM利用者)</b>		-	55,138	58,457	61,885人
	<b>哲西地域人口比</b>		16.3	15.0	15.8	14.8
	<b>(含むATM利用者)</b>		-	17.9	19.0	20.1回

# 市町村合併前後の展開

(H17. 3. 31合併)

- 平成15年から始まった合併協議の中で、行政サービス低下の危惧と行政に頼ったまちづくりの限界を感じ・・・

**NPOきらめき広場** 設立 (H16. 10)

正会員数 63名 (H23. 9. 1)

協力会員 336名

**目的** 市民、行政、企業による協働のまちづくり及び地域づくりの推進に関する事業を行い、もって新しく良質な住民サービスの提供や生活環境の向上を図り、潤いと喜びを持って生活できるまちづくりと豊かで活力ある地域社会づくりに寄与する。

 「まちづくり」への取り組み



# NPOが取り組むおもな活動の形態

## NPOが直接主体的にとりくむ活動

- ・地域情報誌の発行
- ・子育てサロンの開設
- ・福祉有償運送
- ・市民活動団体支援

## 他の市民団体等を支援し協働して取り組む活動

- ・地域包括ケア推進活動(市内14団体で地域包括ケア推進会議設置)
- ・哲西地域安全会(会員336名)と協働して取り組む地域安全活動
- ・地域の2大イベント(春の湿原まつり、地踊り保存夏祭り)開催
- ・自然環境保護活動(クリーン&グリーン作戦実行委員会)

## 行政より委託を受けて公共サービスを提供する活動

- ・市立図書館の指定管理
- ・子育て広場の運営

# ◎平成23年度 NPOきらめき広場事業計画書

定款の事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所
情報発信	ホームページ等による市民活動に関する情報交換と情報発信	随時	法人事務所
	地域情報誌「きらりら」発行	毎月	法人事務所
地域づくりセミナー	市民・行政・企業等参加の地域づくり推進体制や協働システムの構築、ネットワーク化に向けたセミナーやワークショップ実施	随時	きらめき広場・哲西
市民活動団体支援	市民活動を行う団体の連絡、助言並びに支援	通年	新見市内
	財団法人田辺育英会事務局受託	通年	岡山県内
	移動ネットおかやま事務局受託	通年	岡山県内
	建物等共済推進協議会哲西支部事務受託	通年	新見市内
	市民活動団体との協働事業	通年	新見市内
人づくり・まちづくり事業	各種団体共催で、講演会・研修会の実施	年2回	きらめき広場・哲西
	地域づくりフォーラム	年2回	きらめき広場・哲西
	盆踊り保存夏祭り(実行委員会と協働)	8月	きらめき広場・哲西
	地域集落实態調査活動	通年	新見市哲西地域
	文化財保全・調査活動	通年	新見市哲西地域
	地域団体協働活動事業	通年	新見市内
	人材育成活動・活動の場確保事業	随時	岡山県内外



保健福祉推進事業	地域包括ケア推進事業	年12回	新見市内
	健康福祉まつりへの協賛	7月	きらめき広場・哲西
	2級ヘルパー等養成講座	通年	新見市内
子育て支援事業	子育て広場	週3回月2回	きらめき広場・哲西
	図書館利用者幼児一時預かり事業	随時	きらめき広場・哲西
	子育て緊急応援隊活動	随時	きらめき広場・哲西
	病後児一時預かり活動	随時	きらめき広場・哲西
福祉有償運送移送活動	福祉有償運送サービス	随時	新見市内
自然環境保全ボランティア育成事業	鯉が窪湿原保全活動	通年	新見市内
環境保全事業	地域清掃活動・ごみゼロ作戦(各団体協働)	通年	新見市内
都市農村交流調査・研究事業	空家調査と活用活動	通年	新見市内
	エコツーリズム研究事業	通年	新見市内
ICT活用活動	インターネット・メールなどICT活用研究	月2回	きらめき広場・哲西
ラストワンマイル活用事業	ラストワンマイル活用研究会の開催	通年	きらめき広場・哲西
地域安全活動	地域安全確保パトロール活動	月23回	新見市哲西地域
公共施設の管理	新見市立哲西図書館指定管理受託事業	通年	きらめき広場・哲西



# 地域におけるNPOの役割

- **非営利性と運営の透明性による公共の担い手としての活躍**
- **多様な主体による隙間のない公共サービスの実現**
- **官と民とをつなぐ役割**
- **NPOの多様性、柔軟性、先駆性、フットワークの良さなどの特性を活かす。**
- **時代に先駆けた社会実験への挑戦**
- **市民により近い視点からの政策提言**
- **官民協働の実現**

# 小さな拠点「きらめき広場・哲西」

## ◎基礎的生活サービスを効果的に提供する場

(利便性の向上)

医療、介護施設、金融、集会、図書館、公民館、文化ホール、子育て支援施設、食料品・日用品の販売、直売所、一次産品加工施設、カフェ etc

## ◎人々が直接出会い、交流の機会を提供する場

(賑わいの場の創出・地域の情報センター)

地域住民の一体感醸成、相互扶助の意欲喚起、自立意識の高揚

多様な主体が参画しなければ実現できない

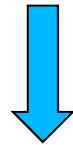


地域の“絆”の再構築



# 小さな拠点の未来

- ◎単なる基礎的生活サービスの提供や利便性の向上は、手段であり目的ではない。
- ◎目標は、そこに集まる人々の仲間意識や一体感を醸成し相互扶助機能を再生することである。
- ◎小さな拠点を中心とした新しい集落(運命共同体としての)の再構築……**まちづくり**



## 小さな自治の創造

- ◎行政と対峙する自治ではなく、協働する小さな自治。  
(住民自治、基礎自治体から住民・住民団体への分権)

# 小さな拠点の課題

## ◎アクセス手段の確保

- ・公共交通の拡充が困難になりつつある
- ・高齢化により自家用車の運転ができなくなる

## ◎カバーする範囲

- ・アクセスの要する時間の限界
- ・エリア住民が身近に感じることができる範囲
- ・住民の一体感が醸成できる範囲。
- ・提供できるサービスの持続可能な範囲  
（経営上の規模・維持経費の確保）

## ◎拠点から離れた基礎集落の衰退を加速しないか

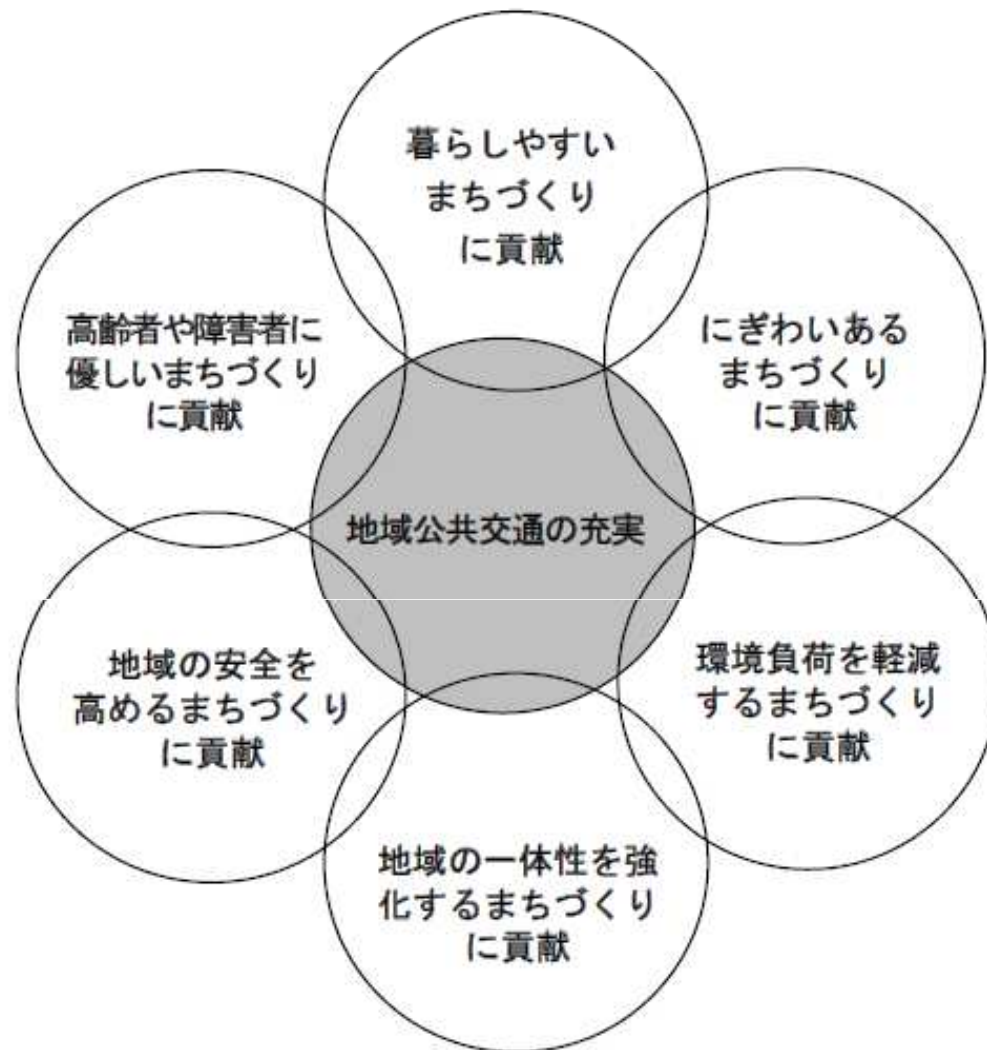
- ・拠点を中心とした一体感をどのように構築するかにかかっている。（新しい集落感の醸成）



# 地域公共交通は社会基盤施設

(地域公共交通ハンドブックより)

## ◎まちづくりの一環としての地域公共交通



「地域・利用者でつくりあげる地域交通」

(国土交通省のモデル的考え方)

# 住民サイドから見た地域交通

## ◎主体的に考えるための三つの隘路(意識の固定化)

### ・「公共サービス」に対する固定観念

公共サービスといえは、税金を使って与えてくれるもの。自分たちはサービスの受け手なのだ。という「意識」の問題

### ・車社会がもたらす錯覚(特に地方において)

自動車社会に慣れてしまっていて、元気なうちは問題意識が希薄であるということ。これも「意識」の問題

### ・移動要望の潜在化

高齢になると、家から出ない(出られない)という思い込み。これも意識の問題。

地域交通システムの面からのみアプローチしても、うまくいかない。

**住民意識の変革**へのアプローチが重要。



# 協働意識の構築にむけて

- ◎徹底した情報公開
  - ◎課題の共有
  - ◎現場重視の視点と共感
  - ◎住民目線と意思疎通
  - ◎対等な協議の積み重ね
  - ◎協働による目標の設定
  - ◎目標達成への協働始動
- 
- ◎人材の育成
  - ◎行政・政治の役割